

仙台市介護保険審議会
地域包括支援センター運営委員会

(第5期計画期間 第7回会議)

日時：平成25年12月26日(木)

午後2時～

場所：本庁舎2階 第3委員会室

次 第

1 開 会

2 報 告

平成25年度地域包括支援センターの事業評価及び指導結果について

3 議 事

平成26年度地域包括支援センター設置運営事業委託について

4 その他

5 閉 会

資 料

○資料1 平成25年度地域包括支援センター事業評価結果について

参考資料1 地域包括支援センターにおける取組事例集

参考資料2 平成25年度地域包括支援センター自己評価の着眼点

○資料2 平成25年度指定介護予防支援事業所指導の実施結果について

○資料3 平成26年度地域包括支援センター設置運営事業委託について

**第5期仙台市介護保険審議会
地域包括支援センター運営委員会（第7回会議）議事録**

日時：平成25年12月26日（木）14：00～15：00

場所：仙台市役所本庁舎2階 第3委員会室

〈出席者〉

【委員】

内田裕子委員， 関東澄子委員， 菊地りつ子委員， 日下俊一委員， 鈴木峻委員 以上5名，
五十音順 （大内修道委員， 駒形守俊委員， 長野正裕委員 欠席）

【仙台市職員】

高橋保険高齢部長， 米内山高齡企画課長， 草苺介護予防推進室長， 坂本介護保険課長， 佐々木青葉区障害高齢課長， 加藤宮城野区障害高齢課長， 大嶋若林区障害高齢課長， 竹村太白区障害高齢課主幹， 山崎泉区障害高齢課長， 阿部介護保険課管理係長， 松原高齢企画課在宅支援係長， 菖蒲介護予防推進室主査

〈議事要旨〉

1 開会

会議公開の確認→異議なし

議事録署名委員については鈴木委員に依頼→鈴木委員了承

2 報告

平成25年度地域包括支援センターの事業評価及び指導結果について

草苺介護予防推進室長説明（資料1， 参考資料1， 参考資料2）

坂本介護保険課長説明（資料2）

【質疑応答】

委員：資料1の4の（2）の業務評価の結果について， 優れた業務を実施しているセンター箇所数が昨年度に比べて， 多くなったと思われるが， いかがか。

事務局：昨年度評価を実施した事業所とは， 異なる事業所を評価しているところもあるが， 昨年度は優れた業務を実施している事業所は6箇所あり， 標準的な業務を実施している事業所が20箇所であった。今年度については， 頑張っ地域に貢献していただいている状況で， 優れた業務を実施しているセンターが増えてきている。

委員：いろいろなことを参考にして業務を行っており， 今年度評価されたところは， 頑張っ業務を行った結果， 優れたところが多くなったことは大変良いことだと思われる。また， 地域包括ケアシステムを進めるにあたっては， 今後， 特に認知症関連業務や地域関係機関との連携ネットワーク作りが大変必要になってくると思うが， 優れた業務を実施しているセンターが多いので， 今後も同様にご指導いただきながら， センターの改善にご協力をいただきたいと思う。

委員：介護保険を使っていない人に関しては， 地域包括支援センターが理解されていない。認知症と家族の会では， コールセンター業務を受託しているが， 地域包括支援セン

ターから番号案内されたという声はほとんど聞かれず、県内の市町村やドクターからの案内は少しずつ増えてきている状況である。地域包括支援センターが地域の中でどんなことをしてくれるかが、住民には浸透していない。介護保険を利用するか、地域包括支援センターを案内されるなど、介護が始まり、大変な状況となってから、地域包括支援センターを知る場合がほとんどである。どんなに良い制度があっても、その情報を必要な人にどのように周知するかを考えなければ、意味がない。本当に困っている人は困ったときに動き出すため、もっと早めに地域包括支援センターがどういうところかを住民に知らせておかなければならない。地域包括支援センターの啓発が重要である。地域の様々な団体同士がつながり、連動して、取組みを進めるなど、互いに横に繋がっていくことで、市民にも広まっていくはずなので、もっといろいろな工夫をしていただきたい。そのための重要な役割を地域包括支援センターが担うと思われるので、住民から認識されるよう啓発に力を入れていただきたい。

また、初めて介護保険を利用する場合の区役所の対応について、専門家の方がいても、利用者任せで、支援アドバイスをしないことから、相談者が困っているというをよく聞く。

認知症コールセンター業務についても、ケアマネジャー等の専門家には、はっきり伝わっておらず、地域包括支援センターと連携したいと思っても、認知症と家族の会がなかなか理解されておらず、どのような取扱いをされているのか疑問である。
事務局：地域包括支援センターの周知に関しては、今後も益々身近で相談できる場所としての役割を果たせるよう、いろいろな活動を通しながら、普及啓発に努めていくことに力を入れていきたいと思っている。

区役所はじめ、地域包括支援センター等の行政窓口の対応についても、必要な人にきちんと伝わるようにサポートすることが役割であるため、今後意識しながら、努めてまいりたい。

なお、認知症と家族の会については、日頃の活動の中で、様々な場面で認知症の方に対するご意見を頂き感謝している。今後もお話をいただきながら、仙台市の認知症施策を進めてまいりたい。

委員：初めてある地域包括支援センターから、民生委員と地域の居宅介護支援事業所のケアマネジャーとの情報交換会に参加する機会をいただいた。地域の民生委員の方々が、自分の地域にどれだけの居宅介護支援事業所があるかや、その特色、どのようなことをしているか、実際にプランを立てているかという話であった。訪問看護のサービスと地域の人たちの交流会は独自に開催するが、他の事業所を交えての情報交換会はなく、今まで呼ばれたこともない。在宅で訪問看護の事業所も新しく出来ており、それぞれ特色もあり、自分で発信する機会だけでは地域の人には分かりにくく、一般の方が知る機会はなかなかない。そういう機会を地域包括支援センターが作る立場にあるのであれば、是非知っていただければと思う。石巻市では、いろいろな事業所との交流会が行われており、仙台市にもこういったものがあると良いと感じていた。

事務局：在宅で高齢者の方が安心して暮らしていくことを考えると、地域での看取りも増えていくことから、訪問看護ステーションの役割も大きくなり、みんなで顔の見

える関係づくりを積極的に推進していかなければならない状況にあると考えている。地域包括支援センターにも、担当圏域にある訪問看護ステーションの情報提供をさせていただきながら、より積極的につながっていただけるようにしていきたいと考えている。また、圏域を超えてサポートをしている場合にも、支援している方を通して、地域包括支援センターやケアマネジャーが情報交換をしてくれるよう、お互いに交流を広げていけるとありがたい。仙台市では、在宅ケア連絡会を各区数か所で開催し、関係職種で連携しているところであり、今後、地域包括ケア全体の関係を考えた時にどのようにつながっていくかの意見を頂戴しながら考えてまいりたい。

委員：在宅ケアを進める上で、誰が旗を振って、繋げるのかが課題となっている。また、電話相談の際には、より具体的な情報を提供できなければ生活に生きてこないため、どこにどのような社会資源があるのかを教えて欲しい。

事務局：仙台市で把握している情報を確認して、提供させていただきたいと思う。

3 議事

平成26年度地域包括支援センター設置運營業務委託について
草薙介護予防推進室長説明（資料3）

【質疑応答】

委員長：その他として、委員の皆様からご意見等はあるか。
（意見等なし）

4 その他

委員長：その他として、委員の皆様からご意見等はあるか。
（意見等なし）

草薙介護予防推進室長説明

次回の具体的な日時等については、委員長と協議し、後日文書にてご連絡する。

4 閉会